

平成20年度社会実験実施箇所

箇 所 名 : 島根県出雲市
実 験 名 称 : 出雲市平田本町商店街【アスティ本町】
まるごと「道の駅」的利活用実験
実 施 主 体 名 : アスティ本町活性化協議会
実 施 期 間 : 平成20年12月21日(日)・23日(祝)／3月中旬

1. 地域の現状と課題

- ・平田本町通りは昭和50年代前半から道路拡幅整備事業に合わせて周辺建物の整備を行い、広い道路と歩道に面した近代的商店街となった。しかし、平成4年の郊外大型店舗進出(現在は閉店)、周囲を囲むバイパス整備などにより、来訪者が減少している。
- ・バイパス整備により、来訪者はもとより通過交通量も減少し、商店街から賑わいが失われている。
(本町通りの交通量 平成6年度:8,003台/日→平成11年度:4,705台/日)

2. 実験内容

- ・道路空間の駐車場としての利用
- ・歩道・沿道空間への物販スペース設置
- ・歩道・沿道空間を活用した情報発信

3. 位置図・実験概要等



■周辺辺バイパス部



■平田本町通り



道路空間の駐車場化

区域内の道路に一方通行規制をかけ、残りのレーンを駐車場として利用し、来街者のアクセス、利便性の向上を図る。



歩道・沿道空間の活用

- ・歩道・沿道空間にワゴン市等の物販スペース、トイレを設置。
- ・歩道沿道空間に一式飾を設置し伝統文化を情報発信。
- ・上記スペースの確保による歩行者等の安全性を検証。

「道の駅」として情報発信

- ・「道の駅」機能として休憩施設、トイレ、情報提供施設を設置。
- ・バイパスからの誘導看板の設置。
- ・アスティ本町全体を、商業機能、駐車機能、休憩機能を持つ「道の駅」とする。